

「消費生活センター」から身近な情報をお届け

「消費生活センター」の開設時間が変更になります

4月から、消費生活センターの開設時間が午前8時30分から午後5時までに変更になりました。これまで、開設時間に間に合わず、相談できなかつた人もお気軽に相談ください。なお、個人情報や相談内容は厳守します。

また、これまで2カ月に1回、各地区を巡回し、市民の皆さんの相談を受け付けていましたが、4月からは、3カ月に1回に変更になりました。日程については広報で案内しますので、確認してください。

「新型コロナウイルス発生に伴うマスク不足について」

現在、新型コロナウイルス

(COVID-19)の流行拡大の影響で全国的にマスクが不足しています。それに便乗し、インターネット上や店舗ではマスクが高額で販売されていますが、現在では政令により、インターネット上での転売は原則禁止されています。また、消費者庁によると、厚生労働省と経済産業省が関係団体にマスクの増産など安定供給について要請を行っているとのこと。マスクでの予防も効果的ですが普段から手洗い、うがいなど基本的な予防対策も併せて行うように心がけましょう。



問 市民課消費生活センター ☎22-9122

今月の高齢者通いの場のコーナーはお休みとなります。

高齢者支援センターご存じですか？

市では、高齢者が安心して暮らせるよう、生活や健康・介護に関する身近な相談や支援、必要な介護保険サービスなどの調整を行う窓口として、市役所(地域包括支援センター)以外にも各地区に高齢者支援センターを設置しています。

☎長寿介護課高齢者支援班 ☎22-9133

こんな時にご相談ください

- ・日常生活の困りごとを相談したい。
- ・介護サービスを利用するにはどうしたらいいか聞きたい。
- ・最近、物忘れがあり生活がとても心配。
- ・遠くに出かけることが億劫になってきたので、近所で出かけられる所を知りたい。
- ・家での介護が大変で疲れを感じている。
- ・福祉用具を使いたい、どうしたらいいかわからない。
- ・近所に心配な高齢者がいる。

相談はどうしたらいい？

窓口または電話でご相談ください。

相談費用はいくら？

相談料はすべて無料です。

※この窓口は、高齢者の総合相談窓口であることが容易に分かるよう「高齢者支援センター」という通称名を用いています。

各地区の高齢者支援センター

平戸地区高齢者支援センター (平戸市社会福祉協議会本所内)	岩の上町1466	☎22-2180
生月地区高齢者支援センター (平戸市社会福祉協議会生月支所内)	生月町山田免3011	☎53-2615
田平地区高齢者支援センター (平戸市社会福祉協議会田平支所内)	田平町里免90	☎57-3142
大島地区高齢者支援センター (平戸市社会福祉協議会大島支所内)	大島村前平2727	☎55-2100
平戸荘高齢者支援センター	紐差町450	☎28-0775
高齢者支援センターわだつみの里	辻町178	☎27-2345

你好,平戸

vol.6

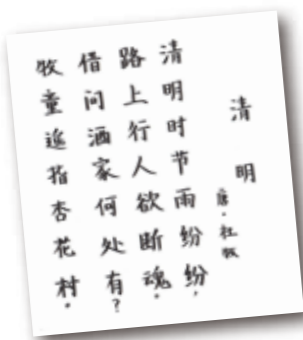
『清明(チンミン)』

「清明时节雨纷纷，路上行人欲断魂。」という唐の時代の有名な詩をご存知でしょうか。清明のころ、春雨がしとしと降りしきっていて、道を歩いて、侘びしさに心が折れそうという場面を描いた詩です。そう、中国では4月といえば「清明節」です。「清明節」は「春節」「端午節」「中秋節」と並んで中国の「四大伝統行事」の一つで、春分の日から15日後で、2020年は4月4日(土)にあたります。清明節は、中国で「踏青節(タアチンジエ、春を迎えて郊外を散策する日)」とも呼ばれ、古くから親族で祖先の墓を参り、墓を掃除する習慣が今でも息づいています。そして、お墓参りの最後に、



国際交流員
丁睿明
(テイ・エイロウ)
(中国出身)

亡くなった家族があの世界に困らないよう、紙幣に似せて作った紙を燃やします。現在、清明節は3連休になるため、お墓参りの後に日本のお花見のような感じで、春のピクニックを楽しむ人も多いです。では、最初の四行詩の残りの文「借問酒家何处有？牧童遥指杏花村。」はどんな意味を表しているのでしょうか。次回をお楽しみに！



問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143